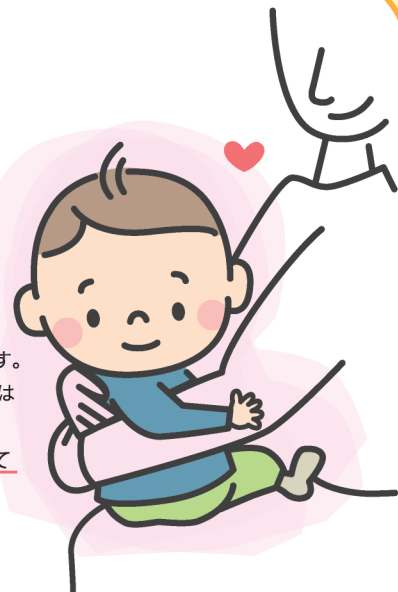


できていますか？

子どもの 事故防止対策



全国で「不慮の事故」によって多くの子どもが亡くなっています。子どもの事故の内容は年齢によって特徴がありますが多くの事故は親の注意や環境づくりによって防ぐことができます。

ご家庭で事故防止対策ができていますかチェック欄に「○」をつけてみましょう。

1歳6か月ごろ

項目	チェック欄	
	1回目	2回目
1 子どもを1人で家や車に残さない		
2 自動車に乗る時は、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せている		
3 浴槽に水を貯めたままにしない		
4 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置く		
5 タバコや灰皿はいつも手の届かないところに置く		
6 ピーナッツやあめ玉などは手の届かないところに置く		
7 暖房器具（ストーブ・こたつなど）の熱が直接触れないようにしている		
8 ポットや炊飯器は子どもの手の届かないところに置く		
9 ベビー用品やおもちゃを購入するとき、デザインよりも安全性を重視している		
10 ベランダへの出口や窓に補助錠をつけたり、階段に転落防止の柵を取り付けている		

※すべて「○」がつきましたか？1度だけではなく、時間をおいて再チェックしてみましょう。

お問い合わせ 徳島市子ども健康課

〒770-8053 徳島市沖浜東2丁目16番地 ふれあい健康館3階 TEL 088-656-0532

● 1～4歳に起こりやすい事故

起きやすい事故	予防のポイント
転落・転倒 ○ ベランダや階段などからの転落	・ ベランダへの出口や窓に補助錠をつける ・ 箱、家具など踏み台になるようなものをベランダや窓際に置かない
やけど ○ 炊飯器や加湿器の蒸気にさわる ○ アイロン、ストーブにさわる ○ ポット、鍋をひっくり返す	・ ストーブ、アイロン、ポット、鍋などやけどの原因となるものに子どもがふれないようにする ・ ストーブなどには安全柵をつける
溺れる ○ 浴槽に落ちる、水遊び	・ わずかな水でも残し湯はしない ・ お風呂場に外鍵をかける ・ 水遊び時はライフジャケットをつける、目を離さない
誤飲・中毒・窒息 ○ 医薬品、化粧品、洗剤、コイン、豆などを誤って飲む	・ 危険なものは子どもの目にふれない ・ 手の届かない場所にかたづける ・ ピーナッツなど乾いた豆類を食べさせない
交通事故 ○ 道路への飛び出し	・ 手をつないで歩く ・ 三輪車に乗る／自転車に／に乗せる時はヘルメットをつける

こどもの不慮の事故を防ぐために

(こども家庭庁のサイト)



「こどもの事故防止ハンドブック」など、子どもの事故防止に関する注意ポイントなど様々な情報を発信していますので、どうぞご利用ください。



お問い合わせ 徳島市子ども健康課

〒770-8053 徳島市沖浜東2丁目16番地 ふれあい健康館3階 TEL 088-656-0532